Ｅ２本日の試合結果一覧

開催日 **2020/01/19**

2019-20 V.LEAGUE DIVISION1 WOMEN

試合番号	441	試合会場	船橋アリーナ	観客数	2,500
開始時間	12:00	終了時間	13:34	試合時間	01:34
主審	北村　友香	副審	高橋　宏明		

デンソーエアリービーズ	通算	2 勝 1 敗 ポイント： 9	3	25	第1セット	16	0	東レアローズ	通算	1 勝 2 敗 ポイント： 5
				27	第２セット	25				
				25	第３セット	22				
					第４セット					
					第５セット					

監督コメント（デンソーエアリービーズ）

今日もたくさんのご声援をいただけたことに深く感謝致します。ありがとうございました。セミファイナル進出をかけた大事な一戦となりました。序盤で主導権を握ろうというミーティング通りに勢いを作れました。サーブとブロックに加えてオフェンスが機能したことが大きく繋がったと思います。来週も勝ち続けられるように、もう一度準備をして、デンソーらしいバレーを展開します。

多くの方々の熱い声援を力に走り続けます。今日はありがとうございました。

監督コメント（東レアローズ）

第１セットスタートからサーブレシーブが安定せずに簡単に相手に余裕を持たせてしまう。コンビネーションも安定せずに自分たちの持っているものも出せずに情けない戦いをした。

第２セット、第３セットも出だしが悪く、自分たちで苦しい展開にしてしまう。それでも１本１本を雑にすることなく途中出場のメンバーも盛り上げ同点に追いつく場面もあったが、最後に勝ち切る力はまだなかったようだ。

2019－20シーズン、本当に多くの方々に支えられ、大声援の後押しのおかげでここまで戦うことができました。本当にありがとうございました。引き続き日本のバレー界を盛り上げられるよう謙虚にどん欲に取り組みます。

要約レポート

ファイナル８・Ａグループ、プレミアカンファレンス優勝のデンソーエアリービーズとスターカンファレンス２位の東レアローズとの対戦。セミファイナル進出のためには、東レアローズにとっては負けられない一戦。

第１セット、序盤からデンソーが鍋谷のサーブにより流れを掴み得点を重ねる。対する東レはクランを中心に食らいついていくも流れを掴みきれず、デンソーがセットを先取する。

第２セット、デンソーはシニアード、中元を中心に点数を重ね、対する東レはクラン、石川を中心に応戦する。終盤までシーソーゲームとなったが、最後は、シニアードのスパイクやサービスエース、鍋谷のブロックアウトをねらったスパイクでセットを連取した。

第３セット、序盤からデンソーが流れを掴みリードする。しかし、東レは黒後、石川が流れを呼び戻し、このセットもシーソーゲームとなる。終盤、デンソーはシニアードのスパイクを皮切りに鍋谷、奥村のスパイクで東レの追撃を振り切り勝利した。

デンソーはファイナル８・Ａグループ１位でセミファイナル進出を決めた。

試合番号	442	試合会場	船橋アリーナ	観客数	2,600
開始時間	15:00	終了時間	17:26	試合時間	02:26
主審	明井　寿枝	副審	増岡　三佳子		

NECレッドロケッツ	通算	0 勝 3 敗 ポイント： 3	2	20	第１セット	25	3	埼玉上尾メディックス	通算	3 勝 0 敗 ポイント： 7
				25	第２セット	16				
				25	第３セット	23				
				23	第４セット	25				
				12	第５セット	15				

監督コメント（NECレッドロケッツ）

２日間たくさんの応援ありがとうございました。悔しい結果となり、ＮＥＣを支えてくれる多くの方々に申し訳ない気持ちでいっぱいです。昨日の敗戦から選手達はモチベーションを落とす事なく戦ってくれた事に感謝しています。今シーズンの試合はここで終了となりますが、次の未来に向かって挑戦していきたいと思います。

多くのご声援ありがとうございました。我々はもっと強くなります。

監督コメント（埼玉上尾メディックス）

本日はファイナル８最終戦。３連勝してセミファイナルへ勢いをつけるべく試合に臨みました。

第１セットは昨日の勢いのままセットを取る事ができたが第２、第３セットは相手のサーブ戦術への対応が遅れ、連続失点のきっかけを作ってしまいました。第４セットから途中交代の佐藤がチームに再び火を灯し、勝利する事ができました。両チーム共にリベロがナイスレシーブの連発で、観戦に来ていたジュニアの選手達の憧れとなってくれた事でしょう。

今日の結果からセミファイナル進出が決まりました。これもコーチ、アナリスト、マネージャー、トレーナー、事務局の方々がチームを支えてくれている結果が出たものと感じています。選手もこの２日間本当にタフな試合を勝ち切り、４位からのセミファイナル進出を実現させてくれました。残り２試合、更にチーム一丸となって、ファンの声援を受け、優勝の実

要約レポート

ファイナル８・Ａグループ、プレミアカンファレンス３位のＮＥＣレッドロケッツとスターカンファレンス４位の埼玉上尾メディックスとの対戦。セミファイナル進出をかけた大事な一戦。

第１セット、序盤、埼玉上尾のサンティアゴの攻撃が決まり流れを作る。対するＮＥＣはレシーブで粘りを見せるが、シュシュニャルを中心に組み立てリードを奪った埼玉上尾が第１セットを先取した。

第２セット、流れを掴み勝利したいＮＥＣは古谷のスパイク、島村のサービスポイントで引き離す。メンバーを代え反撃したい埼玉上尾は攻撃するも島村のブロックに捕まり、最後まで流れを掴みきれず、ＮＥＣが第２セットを奪った。

第３セット、流れに乗るＮＥＣは序盤から古賀、古谷の攻撃でリード、対する埼玉上尾もセッターを代え流れを掴みたいが、ＮＥＣは古賀のブロックも決まり点数を重ね、終盤埼玉上尾の猛攻撃に苦戦するもＮＥＣが第３セットを連取した。

第４セット、後がない埼玉上尾は吉野、シュシュニャルを中心に攻撃を展開。対するＮＥＣは、サイドアタッカーにトスを集め、一進一退の攻防が続く。最後までどちらも譲らずの争いになるが、埼玉上尾が第４セットを取り返す。

第５セット、流れに乗った埼玉上尾はシュシュニャルのサーブからレシーブを崩し点数を重ねる。追いつきたいＮＥＣは粘りのレシーブから反撃し追いついたが、最後もシュシュニャルの攻撃が決まり、埼玉上尾が熱戦をものにした。埼玉上尾はファイナル８・Ａグループ２位でセミファイナル進出を決めた。

試合番号	443	試合会場	YMITアリーナ（くさつシティアリーナ）	観客数	2,520
開始時間	12:05	終了時間	13:42	試合時間	01:37
主審	種元桂子	副審	澤達大		

JTマーヴェラス	通算	2 勝 1 敗 ポイント： 9	3	25	第１セット	23	0	岡山シーガルズ	通算	2 勝 1 敗 ポイント： 6
				25	第２セット	17				
				27	第３セット	25				
					第４セット					
					第５セット					

監督コメント（JTマーヴェラス）

ファイナル8最終日、昨日の試合をしっかりと見つめなおし、自分達が何をしなければならないかを考え、この大切な試合に臨んだ。岡山はディフェンスだけでなくオフェンスもレベルアップしている。今日はサーブが勝敗を分ける事になった。サーブを効果的に打つことで、岡山のオフェンスを絞りやすくすることができた。

本日でセミファイナル進出が決定いたしました。残り少ない日々を後悔することがない様、しっかりと気持ちとコンディションを整え、覚悟を持って準備をしていきます。来週も引き続き熱い応援をよろしくお願いします。ありがとうございました。

監督コメント（岡山シーガルズ）

第1セット3点リードの中、勝ち急いだことで相手に勝利をあげてしまった。第3セットはキャプテンの吉田選手がよく頑張ったが、最後は踏ん張ることができなかった。このゲームで今シーズンは終わるが、他チームの結果に運命を託したい。

寒い中、チームを勇気づけてくれたファンの皆様に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

要約レポート

ファイナル8・Bグループ、JTマーヴェラスと岡山シーガルズによるセミファイナル進出をかけた一戦。

第１セット序盤から岡山は佐々木、金田を中心とした両サイドからの攻撃で点数を重ねていく。対するJTはドルーズのアタックやサービスエースで得点を重ね、一進一退の攻防が続く締まった試合展開となった。JTはセット終盤にドルーズのバックアタックが連続で決まり、第1セットを先取した。

第2セット、JTはドルーズの連続得点で勢いに乗り、そのまま終始リードを守る。このセットもJTが連取し、セットカウント2-0でセミファイナル進出に王手をかけた。

第3セット、終始お互いがアタックを決め合う試合展開となったが、拮抗した試合展開からJTはドルーズにボールを集める。試合はデュースにもつれ込んだが、ドルーズが要所で決め切り、最後はJTが27-25でこのセットを獲得。セットカウント3-0で勝利し、JTはセミファイナルの進出を決めた。

試合番号	444	試合会場	YMITアリーナ（くさつシティアリーナ）	観客数	2,520
開始時間	15:00	終了時間	17:14	試合時間	02:14
主審	吉岡奈々	副審	佐々木伸子		

トヨタ車体クインシーズ	通算	1 勝 2 敗 ポイント： 6	2	25	第１セット	16	3	久光製薬スプリングス	通算	1 勝 2 敗 ポイント： 3
				22	第２セット	25				
				26	第３セット	28				
				25	第４セット	20				
				9	第５セット	15				

監督コメント（トヨタ車体クインシーズ）

最後のチャンスに賭けて一生懸命戦った選手達を讃えたく思います。又、厳しいシーズンを過ごしたであろう久光製薬が執念で我々の挑戦を跳ね返した結果となりました。

セミファイナルに進む４チームの健闘を祈ると共に10月12日から共に戦い応援して下さった全ての皆様に心より感謝を申し上げます。どうもありがとうございました。

監督コメント（久光製薬スプリングス）

我々にとっては、今シーズン最後の一戦、相手は、セミファイナル進出を掛けた一戦、久光製薬スプリングスのプライドを懸け、選手、サポーターの思いが一つとなり戦えた。本日の一戦は勝って終わることができたが、次のステージに進めなかったことをしっかりと受け止め、必ず這い上がります。

最後までチームの背中を押し続けていただきました、サポーター、久光製薬の皆様、心から感謝申し上げます。今リーグもたくさんのご支援ありがとうございました。

要約レポート

第1セット、序盤からトヨタ車体クインシーズは藪田、ネリマンのアタックが連続して決まり、12-4とリードする。中盤、久光製薬スプリングスは石井のアタックや岩坂のブロックなどで反撃するも、トヨタ車体の勢いは止まらず、25-16でトヨタ車体がセットを先取した。

第2セット、久光製薬は石井のアタック、小島のツーアタック、ブロックポイントなどで得点を重ねる。一方トヨタ車体はミスが続き、14-10と久光製薬がリードする。中盤、トヨタ車体は内瀬戸、ネリマンのアタックで連続得点し、14-14と追いつくが、久光製薬の井上と石井のアタック、平山のサービスエースでリードし、25-22で久光製薬がセットを奪い返した。

第3セット序盤、トヨタ車体の藪田、ネリマンのアタックが連続して決まり5-0とリードする。その後、久光製薬は石井、井上の両エースの攻撃が決まり追いつく。中盤は一進一退の攻防が続き、最後は久光製薬が接戦を制し、28-26とセットを連取した。

第4セットも序盤トヨタ車体の連続得点で、22-14まで試合が進む。追いつきたい久光製薬は、両エースを軸に攻撃を重ね、3点差まで詰めるも、トヨタ車体の堅い守りと攻撃から追いつけず、最後は25-20でトヨタ車体がセットを取り、セットカウント2-2とした。

第5セットは、序盤から両チーム白熱した一進一退の攻防が続く。中盤、久光製薬は岩坂の連続ブロック、サービスエースなどで6-7から7連続得点を重ね、最後は久光製薬がセットカウント3-2で勝利をつかんだ。

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。